

対 象 学 年	中学校 第1学年
学 習 指 導 要 領	聞くことの言語活動(工) 話すことの言語活動(イ)
単 元 名	LESSON 7 Chinese and Japanese (全8時間) NEW CROWN ENGLISH SERIES 1
単 元 目 標	<p>自分や仲間ができることや得意なことを話題にして、間違うことを恐れず、聞き手の理解に応じて工夫しながら紹介しようとしている。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)</p> <p>強勢、イントネーションを用いて、できることや得意なことの内容を正しく伝えたり、相手の理解に応じて工夫して話したりすることができる。 (表現の能力)</p> <p>話される内容にうなずいたり、聞き返したりして、内容を正しく聞き取ることができる。 (理解の能力)</p> <p>能力(できること)を表す can を含んだ文の形、意味、用法について正しく理解している。 (言語や文化についての知識・理解)</p>
配 慮 事 項	<p>基礎的・基本的な内容の確実な定着の工夫 単元の指導過程の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の導入に当たり、学級一斉の学習形態で、教師がモデル提示し終末の言語活動への見通しをもたせる。単元の終末で目指す姿を具体的に示すことで、毎時間の言語活動を積み上げ、努力していけばできるという意欲をもたせるようにする。 <p>単位時間の指導過程の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元を通し、各単位時間の「帯活動」として、言語材料 can や多くの動詞を定着させるために「自慢名人に挑戦！」というペアワークによる口頭の活動を行う。同時に、前単元の言語材料である一般動詞三人称単数現在形の用法に習熟させるために、「Guess Who Game」や「10 Questions」の活動を行う。 表現内容や強勢を用いた話しぶりなどに関して、英語係やその他の生徒のスピーチを積極的に視聴させて学級全体へ広めていく。そうすることで、仲間へのあこがれや目指す目標をもたせやすくなり、より主体的に学習することができる。 <p>言語活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の終末では学級全体の中でスピーチ発表会を行う。その前時までは少人数学習形態で、「帯活動」の中で話す英文、教科書の英文、対話活動で話す英文について、伝えたい語句に強勢を用いて話す指導を積み上げていくようにした。 <p>評価の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 間違いを恐れず1文でも多く話そうとする態度を常に認める。スピーチ発表会では、今までに身に付けてきた伝えたい語句に強勢を用いて内容が正しく伝わるように話す力を発揮させる。また、強勢を用いて話すこと以外に、常に自分の話しぶりを見つめ改善していく生徒を育成するために、正しい発音、イントネーション、聞き手の理解を確認しながら話すという観点での個人目標をもたせ、自己評価や相互評価を行う。
参 考 資 料	<p>資料1：単元評価規準自己評価・毎時間の振返りシート</p> <p>資料2：毎時間の学習プリント</p> <p>資料3：2学期末試験一部抜粋（表現の能力「書くこと」の問題と言語の知識・理解）</p>

2 単元の評価規準

	ア コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語や文化につ いての知識・理解
聞く評 こ価 と規 準 話す評 こ価 と規 準	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動に積極的に取り組んでいる ・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを続けようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・初歩的な英語を用いて、自分の考えや気持ちなどを正しく話すことができる。 ・初歩的な英語を用いて、場面や相手に応じて適切に話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・初歩的な英語の情報を正しく聞き取ることができる。 ・初歩的な英語を、場面や状況に応じて適切に聞くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語や言語の運用についての基本的な知識を身に付けている ・初歩的な英語の学習において取り扱われた文化について理解している。
単 元 の 評 価 規 準	<p>(言語活動への取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できることや得意なことについて、間違うことを恐れず、積極的に仲間に伝えようとしている。 <p>(コミュニケーションの継続)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の理解を確かめながら話している。 	<p>(正確な発話)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しい強勢，イントネーションを用いて、できることや得意なことを正しく話すことができる。 <p>(適切な発話)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の理解を確認し、それに応じて適切に話すことができる。 	<p>(正確な聞き取り)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強勢，イントネーションを手がかりにして、内容を正しく聞き取ることができる。 <p>(適切な聞き取り)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できることや得意なことに関する内容を、確認したり、聞き返したりして大切な部分を聞き取ることができる 	<p>(言語についての知識)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能力があるときに使う can の文の形，意味，用法について理解している。
学 習 活 動 に お け る 具 体 の 評 価 規 準	<p>間違うことを恐れず、自分や仲間ができることや得意なことを紹介している。</p> <p>相手の理解を確認し、それに応じて話している。</p>	<p>強勢，イントネーションを用いて、できることや得意なことを聞き手に正しく伝えるように紹介することができる。</p> <p>相手の理解を確認し、それに応じて大切な部分を繰り返したり、ゆっくり話したりするなどして、できることや得意なことを紹介することができる。</p>	<p>強勢，イントネーションを手がかりにして、できることや得意なことに関する内容を正しく聞き取ることができる。</p> <p>予想外な情報について確認したり、聞き取れなかったときに聞き返したりして、大切な部分を聞き取ることができる。</p>	<p>能力を意味する can の入った肯定文，疑問文，否定文の形，意味，用法について理解している。</p>

3 指導と評価の計画（全8時間）

時	ねらい	学 習 活 動	評価規準				評価方法	指導・援助
			ア	イ	ウ	エ		
1	単元の目標や終末の活動のイメージを理解するとともに自分や仲間のできることや得意なことに関する表現を理解することができる。	<p>【導入】 帯活動（趣味のカード取りゲーム） A: I like playing soccer. How about you? B: I don't like playing soccer.</p> <p>【展開】 教師のモデルスピーチを聞き、単元の終末の活動のイメージをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>I'll introduce my friend, Kotaro, to you. He likes running very much. He can run very fast. He's good at running a marathon, too. He runs for 5 km every evening. He is great!</p> <p>（太字は強調する部分）</p> </div> <p>教師のスピーチの内容理解を確認する。 What can Mr.Hirai do well?</p> <p>単元を貫く課題を理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Let's introduce our friends. ~ 伝えたい内容に応じて強勢やイントネーションを用いて、相手の理解を確認しながら、友達のできることや得意なことを紹介しよう。~</p> </div> <p>「自慢名人に挑戦！」という活動を行い、肯定文 can の意味・形・用法を理解するとともに、強勢に慣れる。 教師 T1・T2 によるモデルから正しい強勢の用い方を理解する。 ワークシートに書かれている英文を個人ですらすら言えるまで音読練習する。 ペア内で相手が言った英文を即繰り返しながら強勢に慣れる。 A: I can speak Chinese very well. B: I can speak Chinese very well, too. A: I can fly like a bird. B: I can fly like a bird, too. 練習問題を通して、can の肯定文の用法を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1 He can (runs, run) ~ .適切な語は？ 2 {can / I / the piano / play / very well} . 正しい語順は？</p> </div> <p>【終末】 終末の活動を具体的にイメージ</p>					<p>全体の様子 の観察</p> <p>ペア活動の 観察</p> <p>ペーパーテ ストのチェ ック</p> <p>ペア活動の 観察</p>	<p>T1 , T2 が互 いを紹介しあ うスピーチを見 せる。「つきたい 力」を理解しや すいよう、やや 大きめに強勢を 用いて話し、生 徒の理解を確認 して工夫あるス ピーチを聞かせ る。</p> <p>動詞の欠落、前 単元で学習した 三人称単数現在 形の S が付加さ れてしまう場合 等は、その都度 修正する。</p> <p>生徒の理解に応 じて個別指導を 行う。</p> <p>正しく強勢を用 いることができ</p>

		<p>できるよう、「本当に自分ができるところ」を強勢を意識してペアに伝える。</p> <p>A: I can play basketball well. How about you?</p> <p>B: I can run very fast. 本時の振り返りを書く。</p>					<p>ない生徒に、モデルを示すとともに、「ゆっくり」、「強く」を意識して発音するよう個別指導を行う。</p>
2	<p>can の入った否定文と疑問文の用法を理解し、ペアのことができることやできないことことを知るために質問をすることができる。</p>	<p>【導入】 常活動：学級全員一人ずつ自分のできるところを "I can ~." とできるだけ速く話す。 S1:I can run fast. S2:I can play the violin. S3:I can play the koto. 本時の課題を提示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>自分ができるところ・できないことを、ペアとかがかわらせて話そう。</p> </div> <p>【展開】 「自慢名人に挑戦！」という活動を通して、否定文と疑問文を用いた文の用法を理解する。 ペアで相手が言った英文を can't を用いて否定する練習をする。 A: I can run fast. B: No, no! You can't run fast. B: I can swim very fast. A: No, no! You can't swim fast. ペアで相手が言った英文を、疑問文を用いて、相手に尋ね返す練習をする。 A: I can buy a B.M.W. car. B: Oh, can you buy a B.M.W. car? A: Yes, I can.</p> <p>練習問題を通して、can を含む文の形や意味を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>1 He can't (runs, run) ~. 適切な語 2 { can't / I / swim }. { can / you / play / tennis / very well }? 意味が通る正しい英文に</p> </div> <p>【終末】 「自分ができるところ・できないことを聞き合い、強勢を用いてペアに伝える。 A: I can play baseball well. How about you? B: I can't play baseball. But I can play basketball. I can dribble very well. 本時の振り返りを書く。</p>			<p>活動の観察</p> <p>ペア活動の観察</p> <p>ペア活動の観察</p> <p>ペーパーテストのチェック</p> <p>ペア活動の観察</p>	<p>I can tennis など、動詞を入れないで話す生徒には、動詞を意識して話すよう指導し、その場で再度発音させて見届ける。</p> <p>I can't tennis. のように動詞を入れないで話す生徒には、動詞を意識させて、動詞を落とさないよう個別指導をする。</p> <p>Can you tennis? のように動詞を入れないで話す生徒には、動詞を意識させて、動詞を落とさないよう個別指導をする。 生徒の理解に応じて個別指導を行う。</p> <p>正しく強勢を用いることができない生徒に、モデルを示すとともに、「ゆっくり」、「強く」を意識して発音するよう個別指導</p>	
3	<p>can や既習表現を駆使して、ある人物の特徴について、</p>	<p>【導入】 常活動：Pair Talking Topic: What can you do well? A: What can you do well? B: I can run very fast. I'm good at</p>				<p>ペア活動の観察</p>	<p>前時学習した強勢を大切に話している生徒を紹介し、その</p>

	<p>分かりやすく表現することができ る。</p>	<p>short course. How about you? A: I don't like running. I can play volleyball well. I'm good at serving. 本時の課題を提示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>Guess Who/What Game を通して、特徴が具体的に伝わるように多くの英文で表現しよう。</p> </div> <p>【展開】 Guess Who Game のモデル説明 文を、先生との問答を通して理 解する。 What's this?(ダ'ヲウ) Yes,an ostrich. What is it like?(big)Yes, very big. Can it run very fast? (yes) Yes, it can run very fast. Can it swim? (no) No, it can't swim. Where can you see it?(zoo). Yes, we can see it in the zoo. 教師とのやりとりの後で、ダ チョウについてまとめた英文を 強勢に留意して音読する。 ペアで Guess Who Game を即興 で行う。 A: I can walk and run. O.K? B: I see. A: I can climb up trees. I like eating bananas very much. Can you guess who? B: I got it. A monkey? A: Yes, that's right. It's your turn. 相手の理解を確認し、それに 応じて話しているペアの発表を見 て、目指す姿を確認する。 Guess Who Game を4人班で行 い、問答し合う。 A: This is a teacher. He can run very fast. He has a French car. Can you guess who? B: What color? A: Blue. C: I see. Does he teach soccial studies to us? A: Yes, he does. D: Can he play soccer very well? A: Yes, he can. B,C,D: I got it. He is Mr. ~ Is that right? A: Yes, he is Mr. ~ .</p> <p>【終末】 自分や仲間が表現した Guess Who Game で話された英文を書 く。</p>				<p>活動の観察</p> <p>ペア活動の 観察</p> <p>活動の観察</p>	<p>よさを認める。</p> <p>生徒とのやりと りをしながら、 内容理解の上で 大切な語を板書 し、発音させたり、 理解を確認 したりしながら 進めることで、 どの生徒もが内 容を理解できる ようにする。</p> <p>学習プリントに 役立つ表現を記 載し、必要に応 じて活用するよ う促す。</p> <p>積極的に対話を 行っていた生徒 も認める。また、 ペアと同じよう なよさをもつ生 徒も認める。</p>
4	<p>教科書本文 から分かる メイリンの 自慢を、伝 えたい語句 を強調して</p>	<p>【導入】 帯活動 10 Questions 前時の Guess Who Game で作成 した問題を使って、Q&A の形 で行う。</p>				<p>活動の観察</p>	<p>質問文が思い浮 かばない場合に は、学習プリン トや壁に貼った 表現集を参考に</p>

	<p>相手に紹介することができる。</p>	<p>課題の提示をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>メイリンさんの自慢や特徴について具体的に伝わるように、正しい強勢を用いて話そう。</p> </div> <p>【展開】 § 1 ~ 3 の内容を教師とのやりとりで正しく理解する。 ・ 出身地は中国。 ・ 日本語を少し話す。 ・ 簡単な漢字を使う。 ...等</p> <p>正しい強勢に留意して、role playing で音読をする。</p> <p>メイリンの自慢できること、特徴をキーワードでメモし、話す練習をする。</p> <p>伝えたい語を強調することに留意しながら、ペアで伝え合う。 Meiling is a student from China. She can speak Japanese a little. She studies Japanese very hard. She doesn't know old kanji. She uses simple kanji.</p> <p>【終末】 伝えたい語句を強く発音することを大切にして発表する</p>				<p>生徒の応答の観察</p> <p>学習プリントのメモのチェック</p> <p>発表の観察</p>	<p>するとよいことを助言する。</p> <p>聞き取れなかったり、理解が十分にできなかったりした時に、聞き返す姿勢を認め、「理解しようとする積極的な姿勢」の現れであると価値付ける。 必要に応じてモデルとなる紹介文を書いたプリントを持たせ、キーワードをゆっくりと話せるよう指導する。</p> <p>強勢を用いて話すことについて援助の必要な生徒については一緒に練習し、見届ける。</p>
5	<p>ペアにインタビューすることができることや得意なことを聞き手の理解を確認しながら話すことができる。</p>	<p>【導入】 帯活動：10 Questions, Guess Who Game で作成した問題を使って、Q&A の形で行う。</p> <p>本時の課題を提示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>What can our friends do well? ~ インタビューによる情報活動を通して、できることや得意なことを聞き手の理解を確認しながら話そう。</p> </div> <p>【展開】 質問文をみて、自分の立場で答える。 What are you good at? What can you do well? Where ? When? Do you want to ~ + 1 文を考える。 ペアとインタビュー活動し、聞き手の理解を確認しながら話</p>				<p>活動の観察</p> <p>ペア活動の観察</p>	<p>can や既習表現を使って、積極的にやりとりする姿を認める。</p> <p>大切な言葉を繰り返して確認す</p>

		<p>す。 A: What can you do well? B: I can play the piano very well. A: Do you practice it every day? B: Yes, I practice it for 2 hours every day. O.K? A: Yes, 2 hours every day! Great! B:</p> <p>【終末】 ワークシートに相手の情報を日本語または英語でメモする。</p>					<p>る姿を認める。</p>
6	<p>紹介する相手の話を1つの話題について関連した内容にまとめ、強勢の用い方を工夫して話すことができる。</p>	<p>【導入】 帯活動：10 Questions Guess Who Game</p> <p>本時の課題を提示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>関連した1つの話題を5文程度の英文で、強勢の置き方を工夫しよう。</p> </div> <p>【展開】 モデル文から紹介の仕方を理解し、1つの話題について関連した内容になるよう、構成を考えて紹介文を作る。 I'll introduce () to you. He/She likes ~ very much. He/She can</p> <p>I think he/she is great! 強調する語句をマークし、話す練習をする。</p> <p>【終末】 強勢を用いる語句を意識して発音ができたか振り返る。</p>			<p>活動の観察</p>	<p>can や既習表現を使って積極的にやりとりする姿を認める。</p>	
7 本時	<p>紹介する人のできることや得意なことが聞き手に正しく伝わる紹介をするために、強勢、イントネーションを意識したり、相手の理解</p>	<p>【導入】 帯活動：Guess Who Game 本時の課題を提示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ペアの人のできることや得意なことが聞き手に正しく伝わる紹介の仕方を考え、強勢やイントネーションを意識して紹介しよう。</p> </div> <p>英語係がモデルスピーチを示す。</p>			<p>活動の観察</p> <p>活動の観察</p>	<p>音声による表現がうまくいかない生徒には、教師のモデルを示してイメージをもてるようにする。 さらに練習を必要とする生徒には、教師のモデルを吹き込んだテープを渡し、家庭学習を充実させる。</p> <p>can や既習表現を使って積極的にやりとりする姿を認める。</p>	

	<p>を確認したりしながら工夫して話すことができる。</p>	<p>【展開】 個人目標をもって、個人練習を行う。 自然な強勢を用いるための工夫を考える。 ・文と文の間の取り方の工夫はあるか。 ・ゆっくり、強めに発音する文と語句はどれか。</p> <p>ペア内で聞き合う。</p> <p>3人班を作り交流会を開く。 個人目標と工夫した部分を言ってから順番に話す。</p> <p>【終末】 伸びのある生徒による全体発表を聞く。</p>				<p>活動の観察</p> <p>活動の観察</p>	<p>前時に、発音、強勢に課題を残した生徒を中心に指導する。強勢を意識してテープに録音し、聞きながら練習させる。</p> <p>相手の理解に応じて繰り返したり、ゆっくり話すなどの工夫をして話している生徒を認める。聞き手を引きつけていた生徒や十分な強勢で工夫がみられた生徒を全体の場で発表させ、目指す姿をもう一度確認させる。また、仲間にあこがれをもたせるようにする。</p>
8	<p>学級全体での発表会を通して、仲間の自慢が聞き手に正しく伝わるように、目線、イントネーション、強勢を意識したり、聞き手の理解を確かめたりしながら、工夫して話すことができる。</p>	<p>【導入】 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>イントネーションや強勢，目線を意識し，聞き手の理解を確かめながら紹介しよう。</p> </div> <p>【展開】 学級の前にたって一人ずつ仲間紹介スピーチを行う。</p> <p>【終末】 単元の終末の活動における自己評価を行う。</p>				<p>活動の観察</p>	<p>テーブルコーダーとビデオに記録し、生徒が後で自分の活動の様子を振り返ることができるようにする。</p>

4 単位時間の授業展開例

(1) 本時のねらい

- ・紹介する人のできることや得意なことが聞き手に正しく伝わるために、強勢やイントネーションを意識したり、相手の理解を確認したりしながら工夫して話すことできる。

(2) 本時の位置

7 / 8 時

(3) 展開案

過程	学 習 活 動	評価について	指導・援助
<p>導 入</p> <p>展 開</p>	<p>Greeting & English Song Guess Who Game 本日の出題者 S : This is a woman teacher. She has a car. She can write calligraphy very well. Can you guess who? S2: Is she tall? S:No, she isn't. S3: Is she from Tarui Town? S:No,she is from Ibi-gun. S4: Is her car red? S: Yes, it is. It's new. S5: Can she speak English very well? S: Yes, she is an English teacher. All students: I got it! Is she Ms. Yamamoto? S: Yes, that's right.</p> <p>Model Presentation 英語係が個人目標を述べた後で今までに身に付けてきた力を発揮したスピーチを見せる。 英語係：1文と1文の間をとって確認し、みんなに聞くので答えて下さい。また、ゆっくりと強めに発音して強勢を意識するので聞いて下さい。 I'll introduce A to you. He can play baseball very well. He can run very fast, too. OK? Can you run fast, B? (No, I can't.) Oh, me, either. He's good at batting. He goes to a batting center with his father every Saturday evening. Every Saturday evening, OK? What do you do every Saturday evening?</p> <p>To Check Today's Aim</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ペアの人のできることや得意なことが聞き手に正しく伝わる紹介の仕方を考え、強勢やイントネーションを意識して紹介しよう。</p> </div> <p>To practice by themselves 個人目標をもち練習する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>() 強勢の用い方で工夫したいところ (全員の課題)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>どの文 どのように</p> </div> <p>() O.K?聞き手の理解を確認する () 聞き手に応じて質問する答える () 文と文の間の取り方 () そのほかあれば()</p> </div>	<p>ア -</p> <p>・Guess Who Gameでは、主語 + 動詞, can や三単現Sを用いて、間違ふことを恐れず、強勢を用いて正しく伝えることができたか、出題者と解答者を評価する。</p> <p>イ -</p>	<p>出題者は出席順とし、事前に英文をチェックし、教師の英語の質問にも答えられるよう指導しておく。また、自信をもって話すことができるように励ましておく。積極的にやりとりする姿を認める。</p> <p>英語系のスピーチ発表から個人目標の達成度を認め、本時の課題につなげる。聞き手に正しく伝わる紹介の仕方として、強勢の使い方やイントネーション、さらに聞き手の理解を確認するなどの工夫について全体に伝える。</p> <p>机間指導では、イントネーションを意識することに課題がある生徒に対して、強勢を手拍子してリズムを身に付け、自信をもって活動できるようにする。前時に個々に渡したテープを聞いて練習するよう指示する。人に聞いてもらうという意識をもたせるために、よりゆっくりと強く話すことを</p>

To practice in pairs
強勢の用い方で工夫したところをペア内で聞きあって確認し合う。

To make a speech in a new group
小人数学習形態で行う。クラスを2分し、2つの教室で新たな3人班を作り、発表交流会をもつ。

English Leader: Let's start the introduction of our classmates.

強勢の用い方で工夫した部分を伝え、さらに個人目標を伝えてからスピーチを開始する。

A: I'll introduce B to you. She can play the piano very much. She's good at Bach's music. She has the piano lesson twice a week every Thursday and Sunday. Her dream is to be a famous pianist. I think she is cool. Do you think so, too, C?

C: I know she can play the piano very well. But I don't know her dream. It's new to me.

English Leader: Thank you, A. What do you think of A's speech?

C: good at Bach's music, every Thursday, Sunday の部分の強勢がとてもよかったのでよく理解できた。

To have presentation Time
交流の途中で、強勢の用い方がよい生徒がモデルを提示し、そのよさを確認し合い、再度交流する。

To evaluate Today's Activity
強勢と個人目標に関する達成度を確認する。

Teacher's Comment & Greeting
You had good stress and intonation.
It was easy to understand your speech.
All of you did a good job.
Today, especially, student X gave a wonderful speech to us. His stress was really good. X was not good at stress before. But he practiced his speech many times and he had very good stress and speed today. I am very happy now.
Everybody did a great job.
Thank you very much.

イ -

忪

指導する。
相手の理解に応じて、繰り返したり、ゆっくりと話したりしている生徒に、そのよさを伝え、自信をもって活動できるようにする。また、強勢についてはできているが、聞き手の理解を意識せず一方的に話している生徒には、相手意識をもって話すよいことを助言する。

強勢の用い方がよい生徒の発表を全体で聞く機会を設ける。また、相手の理解に応じて、くり返したり、ゆっくり話したりするなどの工夫をしている生徒の発表も位置付け、そのよさを価値付ける。

強勢がまだ不十分な生徒には、テープを持たせ、家庭学習を位置付ける。また、次時までには声をかけ、見届ける。

5 評価の実際と個に応じた指導事例

(1) 本時重点的に取り上げた評価規準

<イ - >

強勢，イントネーションを用いて，紹介する仲間ができることや得意なことを聞き手に正しく伝わるように紹介することができる。

(2) 評価の実際

評価の方法

<活動の観察>

- ・前時までの音読の状況から強勢でつまづいている生徒を中心に机間指導を行う。
- ・3人班の中でスピーチ交流するときは，交流会の途中であっても既に目標に到達している生徒のスピーチを見せる。そして，具体的なイメージをもたせ，目指す姿を確認させる。
- ・スピーチ交流会では相互評価用紙にて行う。

相互評価用紙	(A)さんへ	評価者(D)さんより
() 強勢の用い方で工夫したいところ	(全員の課題)	
評価		
	4 (十分にできた), 3 (できている), 2 (もう少し練習するとよい), 1 (もっともっと練習するとよい)	
その他の項目に関する個人目標		
() O.K?聞き手の理解を確認する	4	3 2 1
() 聞き手に応じて質問する答える	4	3 2 1
() 文と文の間の取り方	4	3 2 1
() その他あれば書く()	4	3 2 1

各自，班員分(2枚)の相互評価用紙をもつ。

- ・3人班交流会での手順

発表者が個人目標を伝える。評価者は，相互評価用紙の個人目標の項目に 印をつける。発表後，発表者の個人目標は達成されたかどうか，4・3・2・1で評価し，数字に をつける。

評価の決定

個人練習，ペア練習，そして，3人班での交流会の中で，強勢の部分をゆっくりと声を強くして話し，自然なイントネーションがあれば (規準以上)と判断する。

(3) 個に応じた指導の実際

「おおむね満足できる」状況が実現していないと判断される生徒の要因を以下のようにとらえ，それぞれの学習状況に応じて具体的な指導・援助を行った。

- (ア) 紹介文を5文で書いているが，音声で表現するのに困難がある。

- ・5文は教師の援助で作成することができた。原稿を仕上げた段階で，教師と一緒に音読を行った。そのとき，日本語の語順ではなく，英語の語順で教師の後について何度も練習した。例えば，

T: Sさんはできる S can A 男: S can (教師の後に何度も繰り返す)

T: Sさんはできる，何が? A 男: ピアノを弾くことができる

T: S can play the piano A 男: S can play the piano (教師の後に何度も繰り返す)

このように英語の語順で理解していけるように一緒に取り組んだ。

しかし，教師がついていないとなかなか英文がでてこない。特に1文目は言えても，2文目以降の定着が弱い。

- ・教師のモデル音声でテープ録音をして，家庭学習でも十分な練習ができるようにテープを持たせた。

A 男の実態

【技能面にかかわって】

教師の後に音声で繰り返すことができる。

一人では単語を発音することができない。

英文の意味を考えて音読したり，話したりすることが弱い。強調して話す力も弱い。
【態度面にかかわって】
教師の援助がないと最後まで伝えようとする事ができない。

個人練習時での具体的な指導

I'll introduce S to you. She can **play the piano very well.**

「おおむね満足できる」状況：教師の力を借りず，適切な強勢を用いてすらすらと言えた。

She pra....

She can Bach music

She piano

She like music

「おおむね満足できる状況」ではないと判断した根拠

A 男に指導した内容

「おおむね満足できる状況」ではないと判断した根拠にかかわって

帯活動の Guess Who Game や自慢名人に変身の活動や教師と一緒に練習を通して，She can play the piano very well. の英文は定着している。しかし，2文目からは主語の She は言えるが，次に続く動詞の発音，語順，そして，強勢がまだまだ定着が弱い。

本時の個人練習では，原稿を見て録音テープを聞く。

テープを止めて，顔を上げて話す練習

をするよう指導した。

また，この後のスピーチ交流会では，2文目以降を話すときに，時々原稿を見てもよいので顔を上げて，仲間の目を見ることを意識するよう助言した。

強勢については，テープの後について言うときは言えるのだが，自分だけの力ではなかなか定着していかなかった。

ペアでの確認

一番伝えたいのは1文目だと言うので，1文目をペアに聞いてもらった。

She can **play the piano very well.** ペアの相手からは，the の音は弱いほうが聞きやすいというアドバイスももらった。

スピーチ交流会での姿

教師やペアからの助言を意識して話そうとしていた。3文目の She can play Bch's music. は英文を見ずに，She can play までは言えた。

A 男の次時のスピーチ発表会に向けての振り返り

先生が「英文を見てもいいので，話すときは見ないで伝えたい語をゆっくりと言ってごらん」と言ってくれたので，意識してがんばった。can が入った文はすらすらと言えるようになった。残りの文を暗唱してきて，意味を考えて大切なところを強調して紹介ができるようになりました。

(イ) 伝えたい語は分かるのだが，文の中でその部分だけを強調して話し，聞き手に分かりやすく話すことができない。

・原稿を見て，特技や自慢にあたる言葉に印をつける。教師はそれらの言葉をゆっくりと声を高くして手拍子しながら，モデルを示していく。

繰り返し，1文ずつできたら認め，励ましの声をかけていく。

・前時に，教師のモデル音声でテープ録音した生徒には，強勢の用い方を確認するために，テープレコーダーを使用して練習する。

B 子の実態

【技能面にかかわって】

教師の後について正確な音声で繰り返すことができる。

can の意味は理解している。三人称単数現在については理解している。

既習表現の定着が弱く，1つの話題を具体的に展開する力が弱い。

一人では単語を正確に発音することができない。強調して話す力がやや弱い。

【態度面にかかわって】

聞き手の方を見て，最後まで伝えようとする。

個人練習時での具体的な指導

I'll introduce Y to you. He can **play basketball very well.**

「おおむね満足できる」状況：教師の力を借りず、適切な強勢を用いてすらすらと言えた。

He is very tall.

He can good dribbling .

He can run very fast.

He is member of gifuken kyouka team.

「おおむね満足できる」状況ではないと判断した根拠

B 子に指導した内容

「おおむね満足できる状況」ではないと判断した根拠にかかわって帯活動の Guess Who Game や自慢名人に変身の活動を通して、He can **play basketball very well.** の英文は定着している。

しかし、その他の英文の語順が定着していない。テープでは、原稿を見て繰り返し音読するので語順は間違えない。しかし、テープから離れると英語の語順が日本語の語順になってしまう。

「誰が?」「何するの?」「何を?」「いつ?」「どこで?」と一つ一つ丁寧に問い返しながら、英文の構成を身に付けさせた。

また、2文目からの英文の音声面では、語順からくる不安があって伝えたい語句を強く発音して話すことができない。can を強く言い過ぎるため、手拍子を添えて tall, good dribbling の語句をゆっくり強く言ってモデルを示した。

また、家庭学習用に渡しておいたテープを聞いて、テープと一緒に発音するよう支持を出した。テープには遅めと少し速めの2種類を録音しておき、遅めのスピードの方を聞かせて慣れさせていった。

ペアでの確認

英語の語順の間違いはなくなった。強勢を用いる部分では、ペアから「もっとゆっくり tall, fast, member を言ってよ。」と助言を受け、できるようになった。

スピーチ交流会での姿

教師やペアからの助言を意識して話そうとしていた。

B 子の次時のスピーチ発表会に向けての振り返り

前の時間に先生に作ってもらったテープを聞いたけど、いざ一人で声を出すときやっぱり自信がなくなって、小さな声になってしまった。けれど、強く言うところを意識して話そうという気持ちが出てきたし、最初の文はうまく言えた。他の英文はまだまだだったのでがんばりたい。

この生徒には、他の文も前に比べると上達していることを伸びとして認め、その場で個人指導をするとともに、再度テープを聞きながら練習するよう励ました。

(ウ) 伝えたい内容が多くあり、また強勢を用いて話せるが、やや一方通行になりがちで、聞き手の理解に応じたり、確認したりすることができない。

E 子の実態

【技能面にかかわって】

教師の後について音声で繰り返すことができる。

一人で単語を発音することに弱さがある。

英文の意味を考えて音読したり、話したりすることが弱い。

【態度面にかかわって】

教師の援助がないと最後まで伝えようとするすることができない。

個人練習時での具体的な指導

I'll introduce P to you. He can play magic very well.

He always shows his magic in his family.

His father teaches him the magic.

He is good at playing with cards.

「おおむね満足できる」状況：教師の力を借りず、適切な強勢を用いてすらすらと言えた。

He want to be a magician like Mr.Maric.
I think he has a wonderful dream.
Do you think so,too?

「おおむね満足できる」状況ではない
と判断した根拠 1, 2

E 子に指導した内容

「おおむね満足できる」状況ではないと判断した根拠 1 にかかわって
出だしからとても自然な速さですらすらと話せていた。1文の語数も多く、伝えたい
ことが具体的でよい。しかし、聞き手を意識して話すときの速度や目線についてはな
かなか身に付いてこない。すばらしい魅力ある内容だからこそ、ゆっくりと伝えてほ
しいと話す。

E 子に指導した内容

「おおむね満足できる」状況ではないと判断した根拠 2 にかかわって
want to be like の文はこれまでに生徒達は使って、自己表現したことがある。しかし、
それが 全員に定着されているかどうかは分からない。O.K?と云って聞き手の理解を
確認して進めていくことの意義を話す。さらに、大切な部分をもっとゆっくり、強く
話すとよいという助言を与える。

ペアでの確認

ゆっくりと強勢を意識して話し、ペアの相手からも Good! と認めの声をかけてもらった。

スピーチ交流会での姿

彼女の班は2人が男子であったため緊張はしていたが、伝えたい部分をゆっくりと話し、
終わった後で、大きな拍手をもらっていた。

E 子の次時のスピーチ発表会に向けての振り返り

聞き手の顔を見ることが性格からして苦手なのだけれど、魅力的な内容だと誉められ
たので自信をもって話せた。男子から拍手をもらって嬉しかったです。次は、教室全体
を見渡して引きつけるようなスピーチをしたいです。

単元を通した継続的な手だて

言語材料の定着と積極的に自己表現する姿勢を身に付けることを意図して、帯活動として、
"Guess Who Game"と"10 Questions"を行った。

"Guess Who Game" は前単元 (Lesson6)から継続して行った。ここで、繰り返し使用した言
語材料は、3人称単数現在形 -s, -es, He/She is good at ...I think he/she is.... Do you think so,
too? Is that right? Why do you think so? I know he/she Can you guess? である。

また、"10 Questions" では、先ず出題者からの説明を聞き、それが誰であるのか不足してい
る情報を聞き出すために、解答者側から積極的に質問をする活動を行うことによって、"Can
~?" その他の疑問文が定着されるように工夫した。さらに、この活動は、疑問文を用いて仲
間の情報を得て、スピーチ文を作成していく活動や、スピーチ交流会や発表会 (終末)につな
がっていくよう配慮した。

6 参考資料

資料1 単元評価規準自己評価・毎時間の振り返りシート

単元の導入時で説明し、個人目標をもつ。毎時間自己の振り返りで使用する。

the 1st grade L. 7 仲間のできることや得意なこと紹介単元「話すこと」評価規準シート []班 No.() Name()

単元の課題 Let's introduce our classmates! ~ 強勢、イントネーションを用いて、自分や仲間のできることや得意なことの内容を正しく伝えたり、相手の理解に応じて工夫して紹介しよう。~

具体的な評価規準		自己	教師
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	自分や仲間のできることや得意なことを話題にして、間違うことを恐れず、聞き手の理解に応じて工夫しながら紹介しようとしている。		
表現の能力	強勢、イントネーションを用いて、できごとや得意なことの内容を正しく伝えたり、相手の理解に応じて工夫して話すことができる。		
理解の能力	話されるされる内容にうなずいたり、聞き返したりして、内容を正しく聞き取ることができる。		
言語の知識理解力	できごとを表す can を含んだ文の形、意味、用法について正しく理解できる。		

4 3 2 1

毎時間の振り返り できるようになったことを日本語で具体的な内容で書いて振り返りましょう		
1 一斉	単元の導入：仲間紹介スピーチの仕方	仲間紹介スピーチでの目標 がんばりたいこと
	can の用法理解	
2 小人数	can't の用法理解 Can ?	
3 小人数	Guess Who Game 問題作成	
4 小人数	教科書内容 Meiling さんの自慢	
5 小人数	自分やペアの人のできごとや得意なこと	
6 小人数	紹介文作成	
7 小人数	3人班の中でのスピーチ交流会	
8 一斉	学級全体でのスピーチ発表会	

資料2 毎時間の学習プリント

the 1st grade L.7 自分や仲間ができることや得意とすること紹介単元

Class() No.()Name()

第1時 仲間の紹介スピーチのモデルを視聴して、自分の頑張り目標をもとう。
できること can の使い方を理解しよう

Model Speech

I'll introduce my friend, **Kotaro**, to you.
He **likes running** very much.
He can **run very fast**.
He's **good at running a marathon**, too.
He **runs for 5 km every evening**.
He is great!

I'll introduce my friend, **Kumiko**, to you.
She **likes English very much**.
She can **speak English like an American**.
Do you think so,too?
Her **dream** is to **talk to Beckham**.
So she practices English every day.
I think **she is wonderful**.
Do you think **she is wonderful,too?**

Let's practice! 「自慢名人に変身！」

I can speak Chinese very well. I can speak French very well. I can speak English very well.
I can fly like a bird. I can climb Mt. Fuji for one hour. I can go up to Tokyo Tower.
I can eat 100 ramen. I can eat 100 natto. I can eat 100 curry and rice.
I can run very fast. I can swim very fast. I can walk very fast.
I can sing daiku very well. I can sing songs of the Beatles very well.
I can sing songs of Hamasaki Ayumi very well.
I can play the piano very well. I can play the guitar very well. I can play the drum very well.
I can play baseball very well. I can play basketball very well. I can play volleyball very well.
I can play soccer very well. I can use the computers very quickly. I can cook udon very well.

How about yourself? I can +動詞 very well/very fast. 実際にできることを3文以上書きましょう。

----- 切り取り線 -----

Class() No.()Name()

確認問題

- 1 He can (runs, run). 適する語を選んで をつけよ。
2 {can / I / the piano / play / very well}. 正しい語順にきなさい。

資料2 毎時間の学習プリント

the 1st grade L.7 自分や仲間ができることや得意とすること紹介単元

Class() No.()Name()

第2時 できないことは何か(否定文)
できることは何か(質問文)

can't + 動詞 の使い方を理解しよう
Can ~ ?

否定文

A: I can run fast.

B: No, no! You can't run fast.

疑問文

A: I can buy a B.M.W.car.

B: Oh, can you buy a B.M.W.car?

A: Yes, I can.

Let's practice! 「自慢名人に変身！」

You can't speak Chinese. You can't speak French. You can't speak English .
 You can't fly like a bird. You can't climb Mt. Fuji for one hour.
 You can't go up to Tokyo Tower.
 You can't eat 100 ramen. You can't eat 100 natto. You can't eat 100 curry and rice.
 You can't run fast. You can't swim fast. You can't walk very fast.
 You can't sing daiku. . You can't sing songs of the Beatles!
 You can't sing songs of Hamasaki Ayumi.
 You can't play the piano well. You can't play the guitar well. You can't play the drum well.
 You can't play baseball well. You can't play basketball well. You can't play volleyball very well.
 You can't play soccer well. You can't use the computers quickly. You can't cook udon well.

How about yourself? I can ~ , but I can't 5 文以上書きましょう

切り取り線

Class() No.()Name()

確認問題

1 He can't (runs, run). 適する語を選んで をつけよ。

2 {can't / I / swim}. 正しい語順にしなさい。

3 {can / you / play/ tennis /very well}? 正しい語順にしなさい。

資料2 毎時間の学習プリント

the 1st grade L.7 自分や仲間ができることや得意とすること紹介単元

Class() No.()Name()

第4時 メイリンさんの自慢や特徴が具体的に伝わるように、紹介文を作り、正しい強勢を置いて話そう。

Meiling の自慢できること キーワードを抜き出して、キーワードをゆっくりと強く発音して英文で話しましょう

Help Sheet

This is about Meiling.

中国から来た生徒 a student from China

おしゃべり talkative
明るい cheerful

日本語が話せる can speak Japanese
書ける write
読める read

久美さんに親切 kind to Kumi

久美さんに中国語を教える teaches Chinese to Kumi

中国では 簡単な漢字を使う uses simple kanji

昔の漢字は使わない doesn't use old kanji

資料2 毎時間の学習プリント

the 1st grade L.7 自分や仲間ができることや得意とすること紹介単元

Class() No.()Name()

第5時 ペアの人にインタビューしよう。

What can you do well?

自分の立場で+ 1文して答えよう。

What can you do well?

What are you good at?

Who teaches it to you?

When do you ~ ?

相手の人の情報をメモしましょう

--

資料2 毎時間の学習プリント

the 1st grade L.7 自分や仲間ができることや得意とすること紹介単元

Class() No.()Name()

第6時 紹介スピーチの仕方を理解し，1つの話題について関連した内容となるように5文程度の英文にし，強勢の使い方を工夫しましょう。

書き出し	I'll introduce (ペアの名前) to you. O.K?
話題紹介 できること 得意なこと	----- ----- -----
具体的な内容	----- ----- -----

強勢の使い方を工夫しましょう。

紹介文	どの語句をゆっくりと強めて言うと伝えたいことが伝わるのだろうか
(例)	He can use computers very fast. And he can draw pictures on the computer. 引きつけるようにゆっくりと
	----- ----- ----- ----- -----

Useful expressions

話題の文	likes ~ing very much. / can ~ / enjoys ~ing very much
具体的な内容	is good at ~ing serving/ receiving/ batting/ shooting/ kicking /spiking run for a long distance, a good spiker/ setter/ receiver swim the back stroke/ the butterfly, swim breast stroke/ crawl stroke snowboard, run for 100 meters in 11 seconds goes skiing/ skating in ~ His /Her father teaches volleyball to him/ her His dream is to be a ~ / wants to win his/her game / wants to be a ~

資料2 毎時間の学習プリント

the 1st grade L.7 自分や仲間ができることや得意とすること紹介単元

Class() No.() Name()

第7時 聞き手に正しく伝わる紹介の仕方を考え、強勢やイントネーションを意識して紹介しよう

個人目標				
<input type="checkbox"/> 強勢の用い方で工夫したいところ (全員の課題)				
評価				
4 (十分にできた), 3 (できている), 2 (もう少し練習するとよい), 1 (もっともっと練習するとよい)				

その他の項目に関する個人目標				
<input type="checkbox"/> O.K?聞き手の理解を確認する	4	3	2	1
<input type="checkbox"/> 聞き手に応じて質問する答える	4	3	2	1
<input type="checkbox"/> 文と文の間の取り方	4	3	2	1
<input type="checkbox"/> その他あれば書く ()				
	4	3	2	1

相互評価用紙 ()さんへ 評価者()さんより				
<input type="checkbox"/> 強勢の用い方で工夫したいところ (全員の課題)				
評価				
4 (十分にできた), 3 (できている), 2 (もう少し練習するとよい), 1 (もっともっと練習するとよい)				

その他の項目に関する個人目標				
<input type="checkbox"/> O.K?聞き手の理解を確認する	4	3	2	1
<input type="checkbox"/> 聞き手に応じて質問する答える	4	3	2	1
<input type="checkbox"/> 文と文の間の取り方	4	3	2	1
<input type="checkbox"/> その他あれば書く ()				
	4	3	2	1

----- 切り取り線 -----

相互評価用紙 ()さんへ 評価者()さんより				
<input type="checkbox"/> 強勢の用い方で工夫したいところ (全員の課題)				
評価				
4 (十分にできた), 3 (できている), 2 (もう少し練習するとよい), 1 (もっともっと練習するとよい)				

その他の項目に関する個人目標				
<input type="checkbox"/> O.K?聞き手の理解を確認する	4	3	2	1
<input type="checkbox"/> 聞き手に応じて質問する答える	4	3	2	1
<input type="checkbox"/> 文と文の間の取り方	4	3	2	1
<input type="checkbox"/> その他あれば書く ()				
	4	3	2	1

----- 切り取り線 -----

相互評価用紙 ()さんへ 評価者()さんより				
<input type="checkbox"/> 強勢の用い方で工夫したいところ (全員の課題)				
評価				
4 (十分にできた), 3 (できている), 2 (もう少し練習するとよい), 1 (もっともっと練習するとよい)				

その他の項目に関する個人目標				
<input type="checkbox"/> O.K?聞き手の理解を確認する	4	3	2	1
<input type="checkbox"/> 聞き手に応じて質問する答える	4	3	2	1
<input type="checkbox"/> 文と文の間の取り方	4	3	2	1
<input type="checkbox"/> その他あれば書く ()				
	4	3	2	1

資料3

2 学期末試験問題一部抜粋 (表現の能力「書くこと」と言語の知識・理解)

「表現の能力：書くこと」の問題

1 久美はクラスメートの Tom(トム)の自慢や特技を紹介する原稿を考えています。下のメモの内容をよく見て4文で紹介文を仕上げなさい。ただし、英文は主語と動詞のある3語以上の英文であること。

メモ	話題	piano (ピアノ) がとてもうまい
	具体例	classical (クラシック) music が得意 毎週木曜日に take the piano lesson (ピアノレッスンがある) a grand piano (グランドピアノ)を持っている

紹介文 I'll introduce Tom to you.

採点基準 各1文につき2点 合計8点
 文法の間違い: can 動詞, be good at の be 動詞, 3人称単数現在形, 主+動+目的語順についての間違いは, 0点
 She is good at playing classical music. She can play classical music very well.
 語句のスペルミス: 同種につき, 1点減点

2 自分の自慢やできることや得意なことについて、文章のつながりを考えて英文で3文で書きなさい。ただし、英文は主語と動詞のある3語以上の英文であること。

What can you do well?

採点基準 各1文につき, 3点 文章のつながりがある, 1点 合計10点
 文法の間違い: can 動詞, 主+動+目的語順についての間違いは, 0点
 like playing, enjoy playing, I'm good at playing に関する間違いは問わない。
 教科書での既習語句のスペルミス: 同種につき, 1点減点

「言語に関する知識理解」の問題

1 次の対話文を読んで、()内の語句を並べかえて、正しい英文を書きなさい。

- (1) A: You study Chinese. Is that right?
 B: Yes. (Chinese / teaches / to me / my friend).
- (2) A: Look at the wall.
 B: (is / someone / the wall / on).
 A: Who is that?

採点基準		
スペリング(大小文字)と語順が正しい		2点
語順は正しいが、スペリング(大小文字)が間違い(1語ずつ減点)		1点
語順が間違い		0点

2 次の対話文を読んで、内に入る最も適切な英文を右のア～ウから選んで、その記号で答えなさい。

- (1) A: What time is it now?
 B: Well, it's nine twenty-five.
 A: Really?
 B: Yes, you're right. Let's go back to our lesson.
- | |
|----------------------------------|
| ア Don't worry. |
| イ We're late for our next class. |
| ウ I can play baseball here. |

- (2) A: How do you say "pan" in English?
 B: Bread.
 A: Thank you very much.
 B:
- | |
|-------------------|
| ア No, I don't. |
| イ You're welcome. |
| ウ Wow! |

- (3) A: When do you practice judo?
 B: Sunday morning.
 A: I see. I get up at 9 on Sundays.
- | |
|-----------------------------------|
| ア So I get up early every Sunday. |
| イ I play baseball very well. |
| ウ I like swimming. |